

ビバ！英彦山

取組概要

郷土を誇りに思い、地域に役立つ活動を行い、多くの賞賛を得ることで自尊感情や学ぶ意欲の高まりにつながる取組となりました。

- ① 英彦山の歴史・文化・自然を学習する。
- ② 保護者・地域と連携して、学習内容に沿った体験をする。
- ③ 地域清掃やお年寄りへの手紙、花苗のプレゼントをする。

1 学校の課題を探り

- 全校児童数 30名 ○職員数 14名
- 保育園から同じメンバーの集団での生活であるため、新しいものに挑戦しようとする時や大きな集団に所属した時などに、自信や意欲をなくし、本来の力が発揮できない傾向が見られました。

2 目標を立て

- 地域に役立つ活動を行い、感謝される体験や上級生が下級生のお世話をする経験などを通して、自分への自信をもつことができるようにする。(自尊感情・規範意識)
- 郷土の歴史や文化を体験とつないで学ばせ、そのよさに気づかせることで、郷土に誇りを持ち、意欲的に学ぶ楽しさを味わわせる。(自尊感情・学ぶ意欲)
- 保護者の「こてんぐ塾実行委員会」と連携して、子どもの学習につながる活動を体験させる。(学ぶ意欲)
- 地域の人材の活用や、保護者との協力による「こてんぐ塾」の活動等を通して、子どもの課題や目指す姿を地域・保護者・学校で共有しながら、子どもたちを育てる。(開かれた学校)

3 鍛えて、ほめてみると

【目標設定】

(1) 地域を学習することで、活動や取組の意欲を高める。

地域の方の取組や思いを聞いたり、実際にその場に行ったりするなど、「人・も・こと」との出会い方を工夫したので、子ども達に問題意識をもたせることができました。それによって、各自の目標を設定し、それぞれの活動に挑むことができました。

《設定した個人目標例》

- * 郷土について学習をしながら、地域に役立つ活動を考えて実行し、いろいろな人に感謝の気持ちを伝える。(JR駅の清掃、花苗のプレゼント、学校への招待、お年寄りへの手紙)
- * 英彦山の民話をもとにした劇づくりを行い、地域の方に発表する。(縦割りグループによる劇制作と発表)
- * 英彦山のことを、多くの人たちに知ってもらうために、わかりやすいガイドブックを制作し、ガイドができるようになる。(ボランティアガイド、ガイドブックの作成)

生活科・総合的な学習での郷土の学習 (こてんぐ学習)

- 3年 探検マップを作ろう 4年 英彦山調べ
5年 英彦山の自然 6年 英彦山の歴史
全学年縦割りグループ 英彦山の民話 劇作りと発表

地域のGT(ゲストティーチャー)による英彦山の学習

- 1年・4年・6年 しめ縄作り 2年 地域の店調べ
3年 英彦山の祭り・神社調べ
全学年 英彦山の話 (民話、英彦山神宮、風習など)
こてんぐ塾 英彦山の自然(川遊び)

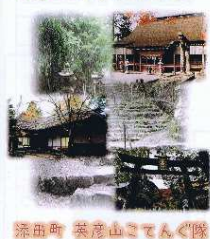


PTA会長による英彦山の話



縦割りでの民話劇の練習

英彦山ガイドブック



添田町 英彦山こてんぐ塾

【挑む】

(2) 人との関わりのある活動を仕組む。

自力解決に向けて、あまり手を出しすぎないように活動を見守ることで、考えながら自分達で活動を行おうとする姿が見られました。

◇ 英彦山を訪れる人との関わり

訪れる人のことを考えて、JR彦山駅の清掃活動を全校児童で行ったり、英彦山について学び、登山者にボランティアガイド(こてんぐ塾の活動)をしたりしました。

◇ 地域でお世話になっているお年寄りとの関わり

学校行事へ招待し、育てた花の苗や暑中お見舞い、年賀状を贈りました。

◇ 異学年との関わり

4つの縦割り班が、それぞれ興味のある英彦山の民話を劇にして地域の人にも観てもらいました。(縦割り班活動)



JR彦山駅清掃



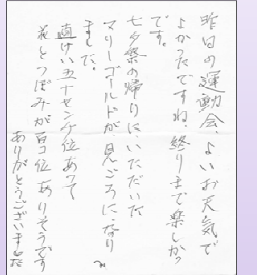
ボランティアガイド

【ほめる】

(3) 活動が地域の人役に立っていることを実感させ、価値づける。

振り返る活動を大切にすることで、子ども達は達成感や自己有用感を味わうことができました。

- 地域の方からの感謝状を受け取ることに、日常の活動が周りの人を喜ばせていることに気づくことができました。
- 英彦山の民話劇の発表などで、たくさんの賞賛を得て、子ども達は達成感を味わうことができました。
- 英彦山の歴史や文化など、学習したことを英彦山の登山者にボランティアガイドで伝え、感謝される体験をすることにより、自己有用感をもつことができました。



地域の方からのお礼の手紙

活動後の子どもたちの感想

- 英彦山の自然を守るため、これからも清掃活動を続けたい。
- 好きな英彦山をたくさんの人に知ってもらってよかった。
- 大人になっても英彦山に住みたい。

保護者の感想

- 自分の生まれ育った所を知り、大人になって戻ってくると言い始めました。
- 生き物やいろいろなものを大切にできるようになりました。
- 親子で関わることで、興味を持って取り組み、さらに英彦山が身近になりました。



英彦山清掃

4 がんばり成果があった！

- 特に5年生にSRTの伸びが見られました。これは、縦割り活動で、中心となって活動していく体験を通して、自信をつけ、自尊感情や学ぶ意欲へとつながっていったと考えます。
- 人とのつながりを体験しながら、日常の活動が周りの人を喜ばせていることに気づくことができました。
- 郷土について様々な学習をし、劇での発表やガイドをすることで、郷土に愛着と誇りを持つことができました。
- 地域・保護者と子どもの実態や目指す姿を共有できました。

SRT	自尊感情		規範意識		学ぶ意欲	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
4・5・6年平均値	14.6	15.6	24.6	25.5	24.6	26.4

5 ココがポイント！

- ① 学習、体験、表現のスパイラル(学習が体験、表現を通して自信へとつながった。)
- ② 保護者・地域への発信(情報を共有することで、共に育てる意識を持つことができた。)